

監 査 結 果 報 告 書

令和 5 年 6 月 3 日

社会福祉法人つばさ福祉会

理事長 渡 部 圭 子 様

社会福祉法第 45 条の 18 及び関係法令に基づき実施した令和 4 年度監査結果について次の通り報告します。

監 事 福田 光 則 

監 事 塩 沼 克 也 

監 査 日 時	令和 5 年 6 月 3 日（土曜日）10 時 00 分 ～12 時 00 分
監 査 場 所	「こども家の敷地内」西都市地域子育て支援センター「つばさ館」
監 査 実 施 内 容	令和 4 年度会計期間に係る決算書の関係書類と財産の状況
監 査 結 果	監 事 の 意 見 理事会にリモートで参加し、コロナ禍で厳しい環境での職務執行状況等について報告を受け事業の進捗状況を確認しました。また、理事会の議事録は適正に整理保管されています。 1. 決算書の関係書類及び財産の状況 決算書の関係書類から資金の収入、支払いを示す（資金収支計算書）、資産の増減を示す（事業活動計算書）、そして法人の財産状況を示す（貸借対照表）、全ての資産と負債を示す（財産目録書）など全ての重要な点において点検を行い、整合性を確認し適正に処理されています。 今年度の決算状況は、新規事業（西都市地域密着型特別老人ホーム）の施設整備資金として、借入金（土地購入資金）が計上され、施設整備関連資金や宮崎・福岡拠点への拠点間繰入として積立資産取崩しと、本部資金調達資金などに前期繰越資金残高取崩しで処理されています。事業収益は黒字ですが、今後の新規事業が軌道に乗るまでは厳しい事業運営になると推測されます。 少子化で厳しい児童確保の中、各園は魅力ある園作りに取り組むことを望みます。 特に、西都市地域密着型特別老人ホームの施設整備建設は多額の資金が必要になりますが、ウクライナ侵攻に伴う建設資材の高騰が懸念されており、西都市への補助金要請や時期との調整など西都市との協議を行い、今後の施設建設見通し（短期・中期・長期計画）を立案し提示することを要望します。
	指 摘 事 項 特になし